

## 5日 水曜

### ペテロ I

3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとなるためです。

3:2 夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。

3:3 あなたがたの飾りは、髪を編んだり金の飾りを付けたり、服を着飾ったりする外面的なものであってはいけません。

3:4 むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人を飾りとしなさい。それこそ、神の御前で価値あるものです。

3:5 かつて、神に望みを置いた敬虔な女の人も、そのように自分を飾って、夫に従ったのです。

3:6 たとえば、サラはアブラハムを主と呼んで従いました。どんなことをも恐れなくて善を行うなら、あなたがたはサラの子です。

3:7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みとともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

3:8 最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。

3:9 悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。

3:10 「いのちを愛し、幸せな日々を見ようと願う者は、舌に悪口を言わず、唇に欺きを語らせるな。



3:11 悪を離れて善を行い、平和を求め、それを追え。

3:12 主の目は正しい人たちの上にあり、主の耳は彼らの叫びに傾けられる。しかし主の顔は、悪をなす者どもに敵対する。」

前章に続き、忍耐の勧めが書かれています。前述のように苦しい我慢ではなく、地上にあるときだけの限定であり、またイエス様のような栄光を受ける生き方でもあります。

妻たちには夫に従うように勧めています。夫たちには妻を尊敬することを勧めています。男尊女卑の時代において卓越した考えと言えるでしょう。まして今はなおさらです。

最後に「悪に対して、祝福」で返しなさいと教えています。誰にでも当てはまる内容でしょう。自分自身のこととして、具体的に考えてみましょう。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

